

2024年 4月24日

京成電鉄株式会社

葛飾区を本拠地とするサッカークラブ 「南葛SC」とパートナー契約を締結



京成電鉄(本社:千葉県市川市、社長:小林 敏也)は、関東サッカーリーグ1部所属のサッカークラブ「南葛SC」を運営する株式会社南葛SC(本社:東京都葛飾区、代表取締役:高橋陽一(『キャプテン翼』原作者))と2024年シーズンのパートナー契約を締結しました。

「南葛SC」は、京成本線の青砥駅を最寄りとする「奥戸総合スポーツセンター」(所在地:東京都葛飾区)をホームスタジアムとしており、サッカー漫画『キャプテン翼』の主人公・大空翼が所属するチームと同名のサッカークラブで、原作者である高橋陽一氏がクラブの代表を務めています。

また、これまで京成電鉄では、葛飾区及び集英社のご協力のもと、『キャプテン翼』ゆかりの地・葛飾において、四ツ木駅での同作品を題材とした特別装飾(ラッピング)の実施をはじめとした様々な企画を通じてPRを行い、地域活性化に取り組んでまいりました。

この度のパートナー契約の締結に伴い、ホームゲーム会場の広告看板(アドボード)や「南葛SC」公式ホームページ、マッチデープログラムに当社ロゴが掲載されるほか、各種プロモーション連携等を推進します。

当社では、「南葛SC」及びサポーターの皆様と共に、『キャプテン翼』ゆかりの地・葛飾における一層の地域活性化に貢献してまいります。

【参考1】南葛SCについて

南葛SCはサッカー漫画『キャプテン翼』の主人公・大空翼が所属するチームと同名のサッカークラブです。原作者である高橋陽一氏がクラブのオーナー兼代表を務め、“葛飾からJリーグへ”をテーマに葛飾区及び東京都全域をホームタウンとし、葛飾区民&都民、行政、パートナー企業とともにJリーグ参入を短期目標に活動しています。『キャプテン翼』のように日本全国、そして、全世界の人たちから愛されるようなチーム作りを志し、子供たちに「夢」と「希望」を育み、ファン・サポーターに希望と誇りを共有し、社会の発展に貢献します。

【参考2】『キャプテン翼』について

『キャプテン翼』とは、南葛小に転入してきた天才サッカー少年・大空翼が若林源三、日向小次郎ら全国のライバルたちとの戦いの中で、1人のサッカープレイヤーとして成長していく姿を描いた作品です。

爽やかなストーリーと個性豊かなキャラクター、そして誰もが真似したくなる迫力のある技の数々で一躍大人気漫画となると、その人気は海を越え世界中に【キャプテン翼ブーム】を巻き起こしました。

その影響は現実のサッカー界にもおよび、国内外で多くのプロサッカー選手誕生のきっかけとなったとまで言われています。

なお、アニメ「キャプテン翼 シーズン2 ジュニアユース編」は、現在、テレ東ほかにて、毎週日曜 17:30 より好評放送中です。詳しい情報は「キャプテン翼 シーズン2 ジュニアユース編」公式サイト(<https://ball-ha-tomodachi.com/jryouth/>)をご確認ください。



©高橋陽一／集英社・キャプテン翼シーズン2 ジュニアユース編製作委員会

【参考3】当社と『キャプテン翼』

- ① アニメ『キャプテン翼』の各キャラクター等を用いた四ツ木駅構内外の特別装飾の実施（2019年2月より開始。2023年11月にリニューアル。）



- ② スカイライナーにアニメ『キャプテン翼』のラッピングを施した「キャプテン翼ライナー」の運行
- ③ 構内の自動放送音声アニメ『キャプテン翼』の各キャラクターの声で実施
例)ホーム 列車接近案内: 1番線/大空翼 2番線/日向小次郎
コンコース案内: 大空翼・中沢早苗 トイレ案内: 中沢早苗
- ④ 列車接近メロディーに、「燃えてヒーロー」(アニメ『キャプテン翼』のエンディング曲)を使用
- ⑤ 『キャプテン翼』原作者・高橋陽一先生描き下ろし原画を基に制作した「きっぷアート」の展示
- ⑥ マクラギの廃材を使用して製作された、実寸大の大空翼像の展示

以 上